

新設 ベンチャー企業への出資研究・実践フォーラム

～ベンチャー/スタートアップ企業出資への手法を巡る諸課題と対応策に関する共同研究と相互啓発～

開催趣旨

IoT、AI、FinTech等、業界秩序を大きく変革する可能性を秘めた新しいサービスが次々と登場しております。そのような環境変化に対応するために、大企業によるベンチャー企業への投資が活発化しており、そのための仕組みとして、CVCファンド(Corporate Venture Capital Fund)の設立を含め、ベンチャー企業への出資が相次いでおります。ベンチャー企業への出資の狙いは、新規事業開発や既存事業の強化であり、大企業にとって非常に有効なツールでありますが、一方で、成果を出すには一定のノウハウが必要であります。当フォーラムでは、ベンチャー企業との協業を促進していく上での

① 立上げの苦労 ② 投資先の苦労 ③ 本社内での説得の苦労

等につきましても、一企業では難しい課題解決・発展のヒントと推進の活力を得合っただくことを目的としております。さらに、業種を超えた人的形成と協力関係が生まれる場としてもお役立ていただきたいと存じます。

第1回例会

2018年8月30日(木) 14:00～18:00

於:東京・表参道 アイビーホール

◆講演① 「パナソニックにおけるベンチャー投資・協業の取組みと展開」 ～技術開発のオープンイノベーションと新事業創出アプローチ～



1991年九州大学大学院工学研究科修了、2012年神戸大学大学院経営学研究科(MBA)修了。1991年松下電器産業(株)(現パナソニック)に入社、本社R&D部門にてVR/ARとコンピュータビジョンの技術開発を担当。2005年から米国Panasonic R&D Company of Americaへ出向し、パナソニック サノゼ研究所の設立を担当(初代副所長)、パナソニック ベンチャーグループ副所長を兼任。2008年より現職、通算13年間CVC業務に従事。現在は、本社のR&D部門と経営企画部門を兼任しベンチャー投資と新規事業創出を担当。

講師:パナソニック(株) イノベーション戦略室(兼)コーポレート戦略本部 ベンチャー戦略室 ベンチャリング担当主幹 濱崎 省吾氏

第2回例会

2018年9月12日(水) 14:00～17:00

於:東京・表参道 アイビーホール

◆講演② 「CVCファンドを活用したベンチャー企業とのオープンイノベーション」 ～事業シナジー創出で押さえておく5つの視点～

※ご略歴、お写真は次頁をご参考下さい。

講師:PwC アドバイザリー合同会社 パートナー 青木 義則氏

第3回例会

2018年10月16日(火) 10:00～17:00

於:東京・表参道 アイビーホール

◆講演③ 「『まず、やる。』から始めるスタートアップとの付き合い方」



(株)コーポレートディレクション、野村證券(株)、三菱UFJモルガン・スタンレー証券を経て2014年8月よりFringe81に参画、現在は取締役兼最高財務責任者(CFO)。コーポレートディレクション在職中は消費財メーカー中心に戦略立案から改革支援まで関与したほか、(株)産業再生機構にてカネボウの支援案件に従事。野村證券企業情報部にて電気・精密業界のM&A助言業務を務めたのち退職し、米国ペンシルベニア大学ウォートン・スクールに留学。成績優秀者として経営学修士号取得(MBA with Honors)。帰国後は三菱UFJモルガン・スタンレー証券投資銀行本部にて国内外企業のM&A、資金調達等の助言業務に従事。Fringe81入社後は同社のバックオフィス機能を立ち上げるとともに、資金調達等を担当。京都大学 工学部物理工学科、京都大学大学院理学研究科物理学専攻(固体物理学)修了、理学修士。

講師:Fringe81(株) 2017年6月東京証券取引所マザーズ市場上場(証券コード6550) 取締役 CFO 川崎 隆史氏

第4回例会

2018年11月14日(水) 14:00～17:00

於:東京・表参道 アイビーホール

◆講演④ 「オムロンにおけるイノベーション創出の取り組み」～CVCの活用とオープンイノベーション～



米NJ生まれ、日・米・独にて幼少期を過ごす。(株)産業革新機構のもとで医療機器に特化したベンチャーキャピタルの設立に携わり、日本、シリコンバレーなどのシード～シリーズステージの医療機器ベンチャー投資に携わる。また、医療機器のイノベーターを育てるためのプログラムであるジャパン・バイオデザインプログラム(東京大学、大阪大学、東北大学)や筑波大学のグローバル医薬品・医療機器マネジメント講座のプログラム作りから講師、メンター、ファシリテーターなども務めるなど、多方面で活動。2018年4月より現職。一橋大学経済学部卒。ペンシルベニア大学ウォートン校MBA。東京女子医科大学早稲田大学共同大学院博士(生命医科学)。スタンフォード大学バイオデザインプログラムフェカルティフェロー。

講師:オムロンベンチャーズ(株) 代表取締役社長 井上 智子氏

第5回例会

2018年12月12日(水) 14:00～17:00

於:東京・企業研究会セミナールーム

◆講演⑤ 「伊藤忠テクノロジーベンチャーズ設立と今後の進展」～国内外のイノベティブなベンチャー企業の発掘・投資・支援活動の推進～



1989年伊藤忠商事(株)入社。90年代前半よりITOCHU Technology Inc. (Santa Clara, CA)にて、ベンチャー投資事業に携わる。シリコンバレーのトップティアVCとの関係を築き、伊藤忠グループにおけるベンチャー投資事業の土台を構築。2000年に伊藤忠テクノロジーベンチャーズ(株)(以下ITV)を立ち上げ、パートナーとしてIPO含む6社をEXITまで導く。2012年伊藤忠商事(株)情報産業ビジネス部長就任。2015年4月ITVにて代表取締役社長就任、現在に至る。

講師:伊藤忠テクノロジーベンチャーズ(株) 代表取締役社長 中野 慎三氏

第6回例会

2019年1月15日(火) 14:00～18:00

於:東京・表参道 アイビーホール

◆講演⑥ 「積水化学工業におけるCVC活動に向けた取組み」～自社ベンチャー投資・協業の取組みと展開～

1997年大阪大学大学院理学研究科修了。同年積水化学工業(株)入社。管工機材の材料開発、防音材料の開発と事業化を担当した後、2007年より現職。環境・エネルギー分野の新規事業企画と全社技術戦略立案に従事。文部科学省 科学技術・学術政策研究所 専門調査員委嘱。企業研究会 新規事業開発リーダー養成フォーラム 運営幹事。



講師:積水化学工業(株) R&Dセンター R&D戦略室部長 森川 岳生氏

2004年東京理科大学大学院理学研究科修了。同年積水化学工業(株)入社。2015年まで知的財産部に所属し、特許出願から係争までを担当。2016年から産業革新機構からカーブアウトしたベンチャーキャピタル(ユニバーサル マテリアルズ インキュベーター(株))に2年間派遣され、投資業務を担当。2018年4月に帰任し、CVCを担当。

同社・高機能プラスチックスカンパニー 経営企画部 CVC担当課長 酒井 洋臣氏

プログラムの内容

- ◆ 1回 / 月で、平日午後の開催です。
- ◆ 開催期間は 2018.8 ~ 2019.1 までの6回開催です。なお、第3回例会(10/16)は討議時間を長く設定し、AM10:00より開始いたします。
- ◆ 前半(1.5時間)は最新動向に対する取り組みの紹介、後半(80分)は質問を各グループで取りまとめ後、全体討議を通して徹底内容理解。
- ◆ 事前に問題意識シートをもってメンバーの抱える問題、課題などを出し合い、メンバーのニーズ、問題意識を浮き彫りにし、研究課題を集約・重点化します。
- ◆ 集約・重点化された研究課題はプログラムに反映させ、前半のゲスト講演、事例研究の講師選定についても、ご参加者の討議課題に即した方々を招聘いたしております。

ゲスト講演、最新動向・事例研究： 14:00 ~ 15:30 <<全体討議>>円卓固定席 毎回シャッフル	グループ単位で、ゲスト講師に質問 取りまと めのための討議 15:30 ~ 15:50	各グループからの質問に対し、講師よりご回答 16:00 ~ 17:00
--	---	--

参加対象

本フォーラムの主旨に賛同し、情報交流、相互啓発に積極的に参加していただける方。各企業の経営企画・経理。技術センター・イノベーション推進室等を担当する経営幹部およびスタッフの方々。

会場案内

東京：表参道アイビーホール

京都渋谷区渋谷 4-4-25
TEL 03 (3409) 8181
銀座線・半蔵門線・千代田線下車
表参道駅下車 (B3 出口より徒歩 5 分)



一般社団法人 企業研究会 セミナールーム

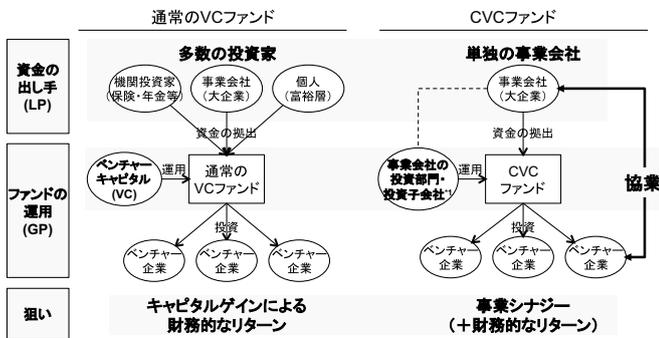
東京都千代田区麹町5-7-2
MFPR麹町ビル 2F
TEL 03 (5215) 3550



ベンチャー企業のスタイル(1)

通常のVCファンドとCVCファンドとの違い

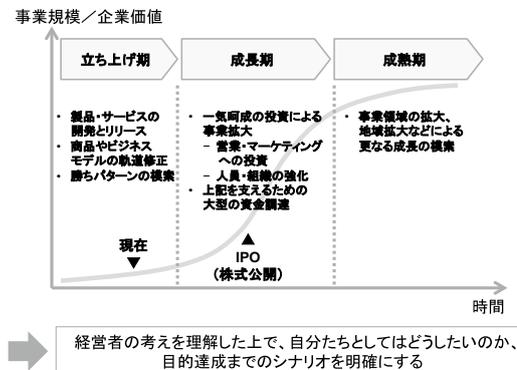
単独の事業会社が資金を拠出し、事業シナジーが見込めそうなベンチャー企業に投資するのがCVCファンドの特徴



ベンチャー企業のスタイル(2)

ベンチャー企業のステージを理解する

支援方針を検討する上で、対象となるベンチャー企業が現在のどのステージにいるのか、各ステージに到達したときに経営者がどうしたいのかを理解することが重要



運営協力委員

三井化学(株)

経営企画部 主席部員

児玉 洋一 氏



京セラ(株)

オープンイノベーション推進3課 責任者

高橋 聡 氏



大正製薬(株)

医薬事業部門 情報検索室長

北島 由紀子 氏



研究協力委員のプロフィール

横浜市立大学 国際総合科学部 学部長 中條 祐介 氏

■経歴

1992年一橋大学大学院商学専攻科博士後期課程単位修得。1992年横浜市立大学専任講師。2004年同教授。2014年国際総合科学部長(現在に至る)。

■社会的活動

日本会計研究学会理事・評議員、日本インベスター・リレーションズ学会副会長・編集委員長、日本ディスクロージャー研究会副会長、証券アナリスト試験委員

■研究テーマ

会計政策論、ディスクロージャー論など



PwC アドバイザリー合同会社

パートナー 青木 義則 氏

IT企業の研究所での勤務を経て、戦略系コンサルティング会社にてM&A戦略、成長戦略、新規事業開発、事業戦略、BDD、オペレーション改革、事業再生など、多数のプロジェクトをリード。その後、独立系ベンチャーキャピタルにて、CVCファンドの運用に従事。投資先のソーシングから投資検討・実行を遂行すると同時に、投資先企業に対して社外取締役としてハンズオン支援を行う。また、ファンドレイズでも中心的な役割を担う。

現在は、M&A戦略からビジネスデューデリジェンス、統合後の戦略再構築など、MSAにかかる戦略課題を中心にクライアント企業を総合的に支援している。



■ 今期プログラム

回	月日	研究テーマ／講演・討議内容			
第1回	[出資サイドより] 8月30日 (木) 於: アイビーホール	14:00～16:00		16:10～17:00	17:00～18:00
		講演①「パナソニックにおけるベンチャー投資・協業の取組みと展開」 ～技術開発のオープンイノベーションと新事業創出アプローチ～ 1. パナソニックのR&D戦略 2. ベンチャー投資市場の最新トレンド 3. パナソニックのCVC活動 4. ベンチャー協業の事例紹介 5. 大企業におけるベンチャー協業の阻害要因とその解決策 「オープンイノベーションの概念が提唱されてから約15年が経過し、日本でも広く認知され有効な手段としてCVCを設立する企業が増えてきた。当社は1998年にシリコンバレーでCVC活動を開始し、これまでに多くのベンチャー企業への投資と協業を行ってきた。本講演では事例を交えて当社の取組みを紹介するとともに多くの日本企業に共通するCVCの課題について議論する。」 講師：パナソニック イノベーション戦略室(兼)コーポレート戦略本部 ベンチャー戦略室 ベンチャーリング担当主幹 濱崎 省吾 氏		全体討議 (1h)	懇親会 自己紹介含 (1h)
第2回	[潮流解説] 9月12日 (水) 於: アイビーホール	14:00～15:30		15:30～15:50	16:00～17:00
		講演②「CVCファンドを活用したベンチャー企業とのオープンイノベーション」 ～事業シナジー創出で押さえておく5つの視点～ 1. CVCの現状～第二次ファンドブームに沸く日本～ 2. CVCの難しさ～半数近くが苦戦、4人に1人が事業シナジーに課題 3. 事業シナジー創出で押さえておく5つの視点 4. おわりに 本講演では、PwCが実施したアンケート調査より、CVC実務担当者がどのような課題に直面しているのかをご紹介しますと共に、複数のCVCファンドの運用を支援してきた講師の経験をもとに、ベンチャー企業との協業を促進していく上での留意点について解説します。 講師：PwCアドバイザリー合同会社 パートナー 青木 義則 氏		グループ討議	全体討議
第3回	[資金活用 サイドより] 10月16日 (火) 於: アイビーホール	10:00～12:00 (東証マザーズ上場ベンチャー企業経営者からのご講演)		13:00～13:50	14:00～17:00
		◆講演③「『まず、やる。』から始めるスタートアップとの付き合い方」 1. CVCが相手にするのはどんな人々か？ 2. ベンチャーへの人材流入 3. サービス、使っていますか？ 4. 投資を成功させるために 「ベンチャーの人たちが何を考えているかわからない」- 会社の規模も業種も経歴も服装も全く違うベンチャー人(ひと)たちがよくわからないというのは、大企業のCVC担当者にとっては当たり前のことと思います。事業がよくわからない。組織・文化も違う。投資を検討するとなれば、ファイナンスの手法にも通じる必要があります。CVCの担当者の皆様は本当に大変と思いますが、成功するためには「まず、やる」ことが出発点と考えています。本講演では、ベンチャー企業側がどのような思いで事業を創っているかをお話しします。こうした企業と大企業の皆さまと一緒にやるためのヒントになればと思います。 講師：Fringe81(株) 取締役CFO 川崎 隆史 氏		I. 前半 講演内容 レビュー	II. 自社のベンチャー企業出資における課題」として共通書式を通して、メンバー相互討議 III. 有志懇親会
第4回	[出資サイドより] 11月14日 (水) 於: アイビーホール	14:00～15:30		15:30～15:50	16:00～17:00
		講演④「オムロンにおけるイノベーション創出の取組み」 ～CVCの活用とオープンイノベーション～ 1. オムロンの事業概要 2. イノベーション創出の取組み 3. コーポレート・ベンチャーキャピタル(C-VC)活動 4. ベンチャー投資事例紹介 5. 今後の課題 オムロンのCVCであるオムロンベンチャーズは、単に社外のリソースを取り込むだけではなく、長期的にオムロン本体のイノベーション創出力も向上させ、ベンチャーも成長できるWin-Winの関係を目指して活動しております。具体的な事例も交え、CVCの難しさと成功するための条件などについて検討していきたいと思っております。 講師：オムロンベンチャーズ(株) 代表取締役社長 井上 智子 氏		グループ討議	全体討議
第5回	[出資サイドより] 12月12日 (水) 於: 企業研究会 セミナールーム	講演⑤「伊藤忠テクノロジーベンチャーズ設立と今後の進展」		グループ討議	全体討議
		～国内外のイノベティブなベンチャー企業の発掘・投資・支援活動の推進～ 1. 伊藤忠テクノロジーベンチャーズの事業概要 2. 投資方針に当たった留意点 3. ベンチャー投資の重要性 4. 技術系スタートアップ企業の共通成功要因 5. 今後のファンド組成の見通し 2000年設立。現在3号及び4号ファンドの運用中。伊藤忠グループのみならず外部企業からも資金をお預かりしており、いわゆるコーポレートベンチャーキャピタルではなく、独立系VCとして活動している。但し、出資先企業への支援には伊藤忠グループ及びファンド出資者企業のネットワークを活用しており、他VCとの差別化となっている。 講師：伊藤忠テクノロジーベンチャーズ(株) 代表取締役社長 中野 慎三 氏			
第6回	[出資サイドより] 2019年 1月15日 (火) 於: アイビーホール	講演⑥「積水化学工業におけるCVC活動に向けた取組み」		グループ討議	全体討議
		～自社ベンチャー投資・協業の取組みと展開～ 1. 積水化学の概要と事業展開 2. 新規事業創出の課題と戦略 3. オープンイノベーションの取組み 4. ベンチャー協業事例紹介 5. 高機能素材分野の投資ファンドの活用とCVC活動について 6. 今後の展開 積水化学グループは「住・社会のインフラ創造」と「ケミカルソリューション」によるフロンティアの開拓をグループビジョンとして掲げて新規事業の創出を目指しており、近年では積極的な社外リソースの活用を進めている。本講演では当社における新規事業創出の取組みとベンチャー協業の考え方について事例を交えて紹介する。 講師：積水化学工業(株) R&Dセンター R&D戦略室部長 森川 岳生 氏 同社・高機能プラスチックカンパニー 経営企画部 CVC担当課長 酒井 洋臣 氏			

■「一般社団法人 企業研究会」のプロフィール

昭和23年5月、敗戦後の混乱と荒廃の真只中に、当時の有力鉄鋼メーカー中堅幹部(主に経理部門)を中心として、数人の学者及び経済安定本部調査課の人々からなるインフォーマルな研究懇談会が開かれました。その後、自動車、造船、紡績、製紙工場等のメーカーの有志も加わってくる中で一定の事務局機構をもつフォーマルな会員相互の研究機関への構想が打ち出され、同年12月7日、経済安定本部長官邸で正式名称を「企業研究会」として創立総会が開催されました。当初、任意団体として発足した本会も研究活動の活性化と会員の増加とに並行し、昭和31年3月31日、通産大臣認可の社団法人に組織替えがおこなわれ現在に至っております。

本年65年目を迎えておりますが、発足時から受け継がれた産・学・官共同による地道な実践プログラム、さらに出版・編集活動などにみられるとおり、ますます強化され、比類なき研究機関として期待を集め、それを中心として多様かつ広範な活動が展開されています。当会歩みは戦後の経済成長を達成し、近年の国際経済・福祉社会の発展を担う企業の役割と軌を一にしているものといえましょう。さらに当会は2011年4月、一般社団法人移行を機に存在感ある信頼される経営団体を目指し、今後とも鋭意努力して参る所存です。

■ 運営協力委員／メンバー企業からの声

三井化学(株) 経営企画部 主席部員 **児玉 洋一 氏**

従来の VC 投資やエンジェル投資に加え、事業会社による直接投資 / CVC 投資やクラウドファンディングを通じた個人投資等リスクマネー供給の多様化に伴い、新事業やイノベーション創出の担い手であるベンチャー企業 / 事業会社を取り巻くエコシステムが急速に高度化しています。本フォーラムでは、ベンチャーエコシステムにおいて経験豊富な講師をお招きし、ベンチャー投資 / 経営の実務と課題を理解するとともに、参加者同士の交流を通じて、課題解決に向けたヒントを探っていければと考えております。

■ 研究協力委員からの声

横浜市立大学 国際総合科学部 学部長 **中條 祐介 氏**

IoT、AI の発達が指数関数的な社会変化もたらしつつある昨今、世界中の企業が新技術、新事業の獲得競争を加速させています。このスピードに乗り遅れることなく、主要なプレーヤーの地位を維持するためには、外部資源の利活用が不可欠です。その有益なアプローチの一つが CVC ファンドやベンチャー企業への出資です。これらの事例を多面的に学び、情報交換することで、自社に相応しいアプローチを見出していきたいと思います。

参加要項	参加料	正会員 216,000円 (本体価格 200,000円)	一般 248,400円 (本体価格 230,000円)
	申込方法 《体験参加》	* 上記の参加料で1社2名様までご参加いただけます。 * 分割請求(2分割、月割など)やお支払い時期のご相談時期についても承りますので、お気軽にご相談ください。 以下申込書に所定事項をご記入の上、FAXにてお送りいただくか下記担当者宛Eメールにてご連絡ください。 着信確認後、請求書をお送りいたします。	
	お申し込み・お問い合わせ	第1回例会は、会合の雰囲気など実際にご覧いただくために、入会ご検討の方も正式申込の前に無料体験参加いただけます。ご希望の方は、お申込書の体験参加の欄をチェックの上、FAXにてお申し込み下さい。	
		一般社団法人 企業研究会 第2研究事業グループ 担当：福山 〒102-0083 東京都千代田区麹町5-7-2 MFPR麹町ビル 2F TEL 03-5215-3550 / FAX 03-5215-0951 ~ 2 / E-mail: fukuyama@bri.or.jp (福山)	

事業コード 180307 新設「ベンチャー企業への出資研究・実践フォーラム」申込書

一般社団法人 企業研究会 第2研究事業グループ 担当：福山

FAX. 03-5215-0951~2

会合の趣旨に賛同し、下記により参加を申込みます。

参加検討中につき第1回例会の体験を希望します。

2018年 月 日

会社名		所在地 〒			
参加者氏名	フリガナ	所属		役職	
TEL		E-mail			
FAX					
参加者氏名	フリガナ	所属		役職	
TEL		E-mail			
FAX					
備考					

* 副登録者欄は主登録者と共に例会にご参加いただく方、または主登録者に代わり、代理出席いただく方をご記入下さい。特にいない場合、空欄で結構です。
 * お客様の個人情報は、本会合の連絡や名簿の作成および当会主催のご案内を送り出す際のみ利用させていただきます。